

# 函館支部が「健康相談会」 道南の9会場で7人からの相談

函館支部は1月7～9日に道南の9会場（上ノ国・江差・福島・森・八雲・樞法華・恵山・戸井・せたな）で「健康相談会」を開きました。全体で7人が相談に訪れ、このうち4人は「無料健診」を受ける予定です。相談内容は、振動障害・5件、じん肺・1件、アスベスト疾患・1件、騒音性難聴・5件で、「無料健診」の希望は振動障害・4人、じん肺・1人、騒音性難聴・4人です（1人で複数の希望あり）。函館支部はこのあと2月1～3日には函館市と北斗市の5会場で「相談会」を予定しています。

## 11～12月の新規認定は29件

組合員44人（労災職業病16人＋建設現場28人）を拡大

道本部労災職業病部会は昨年11～12月の新規認定のとりくみ状況などをまとめました。新規認定数は、振動障害・16件、じん肺・4件、じん肺遺族補償・1件、騒音性難聴・8件の29件です。また、労災申請などの要求で建交労に加入した人は16人でした。

十勝建設支部では、9～12月に建設現場で働く労働者28人を組合に迎えました。

## 函館合同支部の4分会が年末一時金闘争を終結

函館合同支部の4分会は年末一時金闘争を終結しました。月寒運輸分会は「前年同額」で不満を表明して終結しました。昭和運輸分会は「11万円」で、函館小型運送分会は「0.4か月分＋一律4万円」（平均で10万円程度）で終結しました。トラック職場では、燃料の高騰、仕事量の減少による半期での赤字決算（月寒運輸・函館小型運送など）と、経営側の先行き不安が強く交渉は厳しいものがありました。ビルメンの東洋実業分会は「0.7か月分＋解決金1万円（嘱託労働者ふくむ）です。

2019年は  
〈転〉の年

## 道労連が「新春旗びらき」

道労連は1月8日に「2019年新春旗びらき」をおこない、各単産や友誼団体などから100人余りが参加しました。三上友衛議長は、昨年12月に北海道労働委員会の労働者委員に赤坂正信さんが2期連続して選任されたことを報告するとともに「2018年の一文字は〈災〉だったが、悪政の限りをつくす安倍政治を終わらせ、中央追従から道民本位の道政に転換することなど、2019年は〈転〉の年にしよう。そのためにも道労連を強く大きくするためにがんばろう」と呼びかけました。